

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		あさがおきつず守口（児発）		公表日		2026年 4月 1日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		十分なスペースがあり、ゆったりと過ごすことができている			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	現状は職員の配置数は適切である	2月に開所したところで、今は利用児童数が定員にも達していないため、職員数も十分だが、早急に人材の確保を進めていく		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	玄関などバリアフリーになっており、入室がしやすくなっている	室内の仕切りなど課題もあり、構造化された環境づくりは、今取り組んでいる。セーフティゲートや仕切り柵を活用するなどし、安全な空間にしてい		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	日々の清掃、消毒等は徹底して行っている活動内容に合わせて環境を整え、常に子どもたちが安全に過ごせるようにしている			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	個室があり、着替えや気持ちを落ち着かせる空間を作っている。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		月に1回事業所会議を行っており、振り返りを行っている			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		年に1回実施され、HPで公表している保護者の方の意見を参考に改善している			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		会議で意見を出し合ったり、日々の業務の中でも適宜確認して、必要に応じて改善している			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		研修のお知らせなど職員に情報が共有され、参加の機会が与えられている。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		HP上にも公表されている。また、週替わりのプログラムがあり、事前にお便り等で保護者にお知らせをしている			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		ご家族や利用者様の意向をもとに、十分な聞き取りをした上で、また面談や申し送りを通して個々にあった計画を作成している。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		作成する際に、日々の子供の様子を職員同士で記録したものをもとに、共通理解のもと検討している			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		職員同士で共有したうえで、個々に応じた支援を行っている			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		ボードやノートなどで共有している 日常の観察で得られる情報を丁寧に報告している			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		個別の特性を考慮したうえで、本人支援(五領域に分けて)、具体的な支援内容を設定している			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		会議で意見やアイデアを出しながら、活動プログラムの立案を行っている			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		個別、集団プログラムとともに、様々なアイデアで準備をし、子どもたちの興味を引き出せるよう工夫している			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		保護者に丁寧に子供の状況の聞き取りを行い、個別と集団の活動を組み合わせている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		前回までの振り返りを行っている。役割分担なども全員で担当を決めることで、連携をとっている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		毎回ボードに記入し記録を残し、振り返りや課題を共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		日々の様子をホワイトボードに記入し、まとめたものをファイリングし記録を残している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		子どもたち一人一人の課題の達成状況に応じて、その都度見直しをし、支援につなげている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		子どもの状況を理解しているものが参加し、相談支援員とともに参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		情報の提供また情報の共有ができるよう、記録を用意しており、いつでも連携して支援をおこなう体制作りが行われている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		訪問に来ていただいたり、見学に行くなどし、支援内容の共有や課題の再確認等を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		ご要望があれば進学先へ同行し、情報共有と相互理解を図っている	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6		訪問支援などの機会がある際は、助言等といただき支援にいかせるよう機会を設けている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	1	保育園等への交流はないが、散歩や外出支援を通して地域の方々と交流を持つようにしている	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		日々の様子を連絡ノートや送迎時にお伝えをし、子供の状態や過大について共通理解を持っている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		個々に相談の機会に助言を行っている。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に説明を行い、同意を得ている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		面談の機会を設け、保護者の意思を尊重し支援側の視点では子どもの気持ちを大切に支援をしている	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		支援の内容を丁寧に伝え、同意を得ている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		送迎時や電話・面談を通して助言を行っている	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		2月にオープンしたところでまだ開催はできていないが年内に交流の機会を予定している	
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		申し入れがある際は迅速に対応している。また職員同士でも内容を共有し対応している	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		毎月通信を配布している。また、ホームページやSNSでの発信を行っている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		鍵付きの書庫に保管し、十分留意している	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		視覚支援を行ったり、簡潔に伝えるなど配慮している	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		感染症を懸念し実施できていなかったが、今後は積極的に参加していきたい
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		マニュアルに基づき、月に一度訓練を実施している	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		BCPを算定し、月に一度の訓練を実施している	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		事前に確認している。また必要に応じて与薬依頼書を提出していただき対応をしている	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		医師の指示書に基づきアレルギー食除去で対応をしている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	安全計画の作成や訓練を行っている。	日々安全に過ごせるよう、改善点等意見を常に出し合っている
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		毎月の配布物にて、訓練の実施について周知を行っている	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		事案が発生した際はヒヤリハットを迅速に作成し再発防止について話し合い、対応について共有している	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待防止のため事例をあげて話し合いを行っている		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		必要性があれば保護者に説明をし、同意を得た上で計画書に記載を行っている		